

ふくしまの森林文化調査カード

No.18

県 HP公開 (  可 ・  否 )

区 分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	<input checked="" type="radio"/> 3. 森と技 6. 森の風景
分野(ふりがな)	(分野) 加工(曲げ物製作)	(ふりがな) かこう(まげものせいさく)	
地域独特の呼び方	曲げわっぱ	まげわっぱ	
氏名(ふりがな)	星 寛	ほし ゆたか	
性別・年齢	<input checked="" type="radio"/> 男 ・ 女	82歳	
生年	明治 ・ 大正 <input checked="" type="radio"/> 昭和 ・ 平成	3 年生	
住所・電話	〒967-0527 (連絡先)南会津郡桧枝岐村字見通1136 桧枝岐村営木工品展示販売所(林産所) 電話0241-75-2349		
職 業	曲げ物製作		
活動年数	約40年(昭和46年、平野孫次氏を師とし、曲げ物の制作を始める)		
活動場所	南会津郡桧枝岐村		
活動内容	<p>桧枝岐村の黒檜と山桜の皮を使って、弁当箱や花器、小物入れなどを造る。黒檜を薄く板状にし、熱を加えながら、曲げて作るわっぱ(めっぱ)は、代々山人(ヤモード)の冬の間の手仕事として受継がれてきた。星寛氏は、山椒魚採り漁と木材伐出業務に携わってきたが、40代半ばで、伝統を引継いで、曲げ物製作に携わり、当時名人と言われた平野孫次氏に師事し研鑽に努めてきた。県立博物館等の講座や地元中学校の学習活動に曲げ物製作の講師として実演するなど、地域での活動も行っている。</p>		
文化財等の指定状況	平成15年「森の名手、名人100人」(社国土緑化推進機構選定)		
問い合わせ先	桧枝岐村営木工品展示販売所(林産所)	電話	0241-75-2349

【フリーフォーマット】

キーワード	
◇檜枝岐村営木工品展示販売所 (林産所)	「檜枝岐村」の名のとおり、檜を使った民芸品が文化として継承されている檜枝岐村。村営の木工品展示販売所では、冬の間には農作業が閉ざされる時期を利用して培われてきた技術が冴える木工品を販売している。黒檜を薄く板状にし、熱を加えながら曲げてつくる曲げ輪は、代々山人の冬の間の手仕事として受継がれてきた。はんぞう、杓子、へら、お盆、菓子鉢のほか、わら細工やつる細工など、いずれも実用性が高く、美しさと木の香りが好評を博している。
<div data-bbox="323 797 689 1247" data-label="Image"></div> <div data-bbox="837 801 1393 1236" data-label="Image"></div> <p data-bbox="427 1352 1209 1391">(写真:星 寛氏作業小屋 右 星 寛氏制作の弁当箱、花器)</p>	